

緑化委員会広報

団地外で初の草刈り作業

多摩市の財政削減で実施

緑化委員会が作業範囲を初めて団地外に広げ、7月2日に団地脇の歩行者専用道路「そよかぜの道」の草刈りを実施しました。写真。この歩道は例年になく雑草が伸び放題で、蚊も発生する恐れがありました。植栽担当理事が多摩市と多摩中央署に問い合わせたところ、住民が作業する場



雑草に覆われたグリーンベルト



きれいに刈り取られた雑草

合、届け出などの規則はないことが判明。役員会で協議の上、急きよ実施に踏み切りました。当日は刈払機5台を使つての団地外作業でしたが、委員たちの日ごろの鍛錬が十二分に発揮され無事終了、業者顔負けの出来栄でした。多摩市によると、市内の

歩行者専用道路の草刈りは、これまで毎年2回、業者に発注していましたが、二年前から財政難を理由に道路整備予算を大幅にカットし、年1回の実施に決めたということです。

この日の作業はグリーンベルトの団地側だけでしたが、数日後、片側だけでは見苦しいと、委員3人（高村、香村、石井の各氏）が再度、大松台小学校側の草刈りに挑戦しました。この心意気とボランティア精神に感服です。

団地外作業は通行人から業者と見間違えられる心配があるため、団地名入りのベストを購入してはどうかとの意見があり、緑化委員会で検討しています。

今年も生け垣補修

業者による中低木と生け垣の消毒が9月上旬、実施されました。雨で日程が一部延期されましたが、予定通り終了しました。

また9月中旬からタウンハウスを中心に生け垣せん定作業も行われています。3年目を迎えた生け垣の修復・整備事業は、近く植え替えが必要な樹木を業者と合同で点検した後、今年も予算の範囲内で実施します。

管理組合主催の恒例の団地夏祭りが7月16日に開かれました。緑化委員会は今年もカレー作りを担当、総出で調理に当たりました。

総出で夏祭りを支援

三百食のカレーを調理

前日購入した食材は、肉だけいためて冷蔵庫に保管。当日は早朝から手分けして三百食分のジャガイモ、ニンジン、タマネギの下ごしらえをし

ました。最高気温が30度を超える中、自家製の釜でまきを使って長時間煮炊きするため、担当者は汗だくの作業になりました。

今年の味付けは大泉・料理長が担当。慎重に味見を繰り返し、特製の鶴牧カレーを作り上げました。

また、恒例のカレー作りを担当。恒例のカレー作りを担当。恒例のカレー作りを担当。

斜面の雑草刈りに挑戦

定例作業報告（6月～9月）

▼6月9日（日） 前週の管理組合主催の「草刈り日」が雨で延期になったため管理組合と合同作業。東側と南側斜面の雑草刈りを実施。刈払機による作業の後、雑草の詰め込み作業に汗を流す。作業後、平成18年度第1回委員会を開催。

▼7月2日（日） 役員会開催。作業範囲を広げ、初めて団地外に進出。団地西、北側の多摩市管理の専用歩道の草刈り実施。

また、枝が伸び過ぎて歩道にはみ出した東側道路脇のアベリアとユキヤナギ、ツバキの下枝をせん定。

▼7月4日（火） 林委員長、高村副委員長、石井植栽担当理事が花苗の買い出し。管理事務所前のプラン



バス通り側の斜面の草刈り

▼8月 役員会開催。作業は猛暑のため予定通り休み。

▼9月2日（日） 役員会開催。30度を超える猛暑。

新たに会員二人参加

緑化委員会のメンバーに2人の方（福島四郎さん、坊野修一さん）が新しく参加されました。

編集後記

多摩市が財政難から道路整備費を削減し、草刈り回数を減らしました。車で走ると、交差点や分離帯で伸び放題の雑草が目につきます。行政に頼らず住環境は自分たちで守ろうと、初めて遊歩道の草刈りに取り組みました。（富田）

